



人を想い、産業をつなぐ

2026年3月期 決算補足説明資料

西華産業株式会社
(東証プライム市場 証券コード8061)

- 1. 決算サマリー**
- 2. 2026年3月期 連結決算概要**
- 3. 2027年3月期 連結業績予想**
- 4. 株主還元**

1. 決算サマリー

2. 2026年3月期 連結決算概要

3. 2027年3月期 連結業績予想

4. 株主還元

決算サマリー

(億円)

取扱高 **2,957.2億円** 前期比 +52.8億円

売上高 **1,084.8億円*** 前期比 +147.5億円
 *MHI代理店事業（受託取引）はネット手数料のみ計上

営業利益 **80.3億円** 前期比 +15.4億円

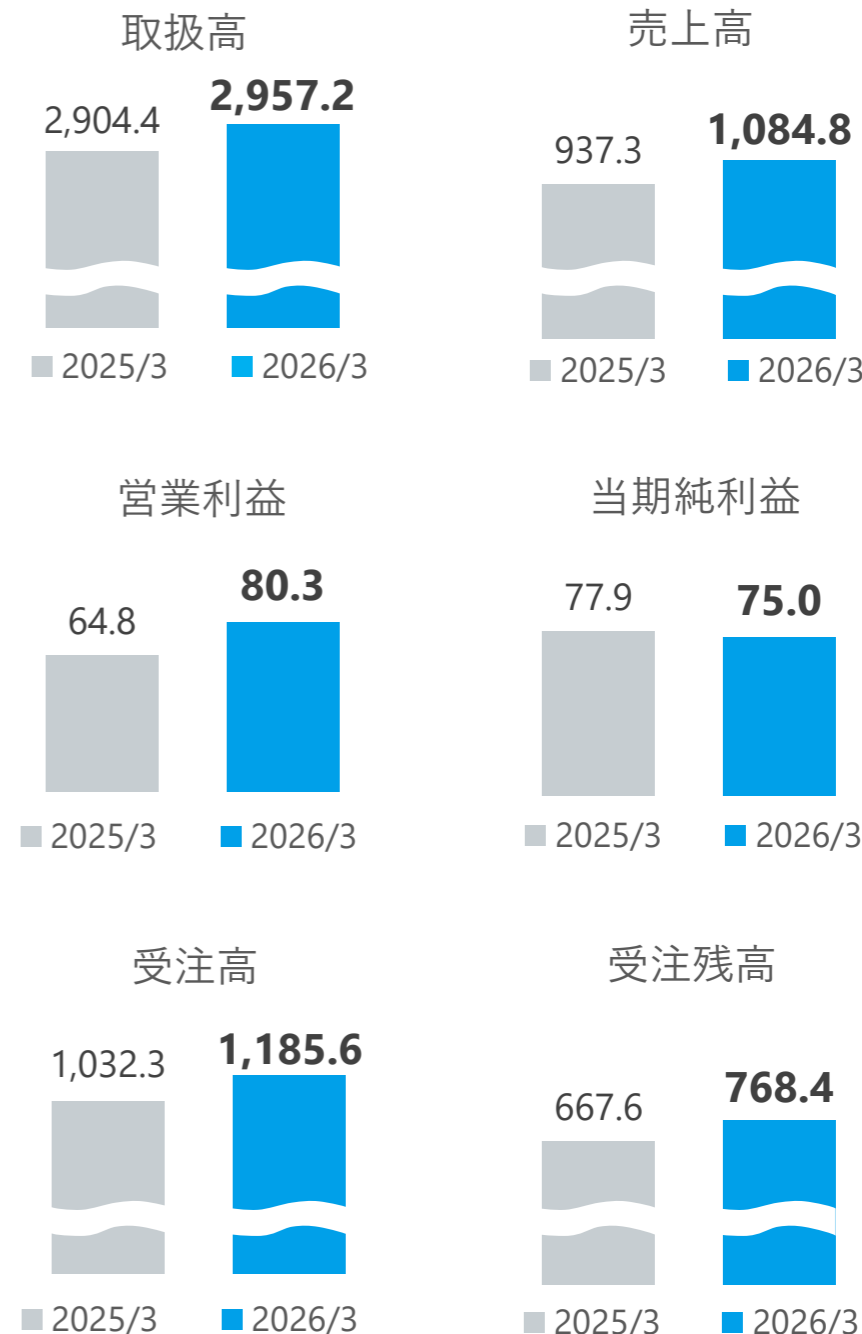
・エネルギー事業ならびにプロダクト事業の連結子会社における
 好調な業績推移により増収増益

当期純利益 **75.0億円** 前期比 ▲2.9億円

・政策保有株式売却益が前期比で▲6.5億円であったことにより減少

受注残高 **768.4億円** 前期比 +100.7億円

配当予想 **81.66円** 2025年11月7日発表予想 73.66円



	第2四半期末	期末
	円 銭	円 銭
2026年3月期	36.66	
2026年3月期（予想）		45.00

※2025年10月1日を効力日とした普通株式1株につき3株の割合の株式分割実施に伴い、
 当該株式分割調整後の配当金額を記載しています

1. 決算サマリー

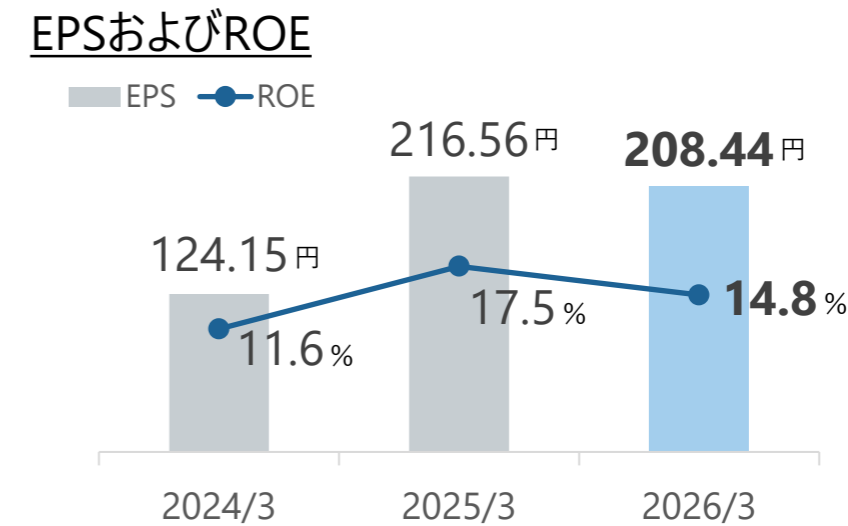
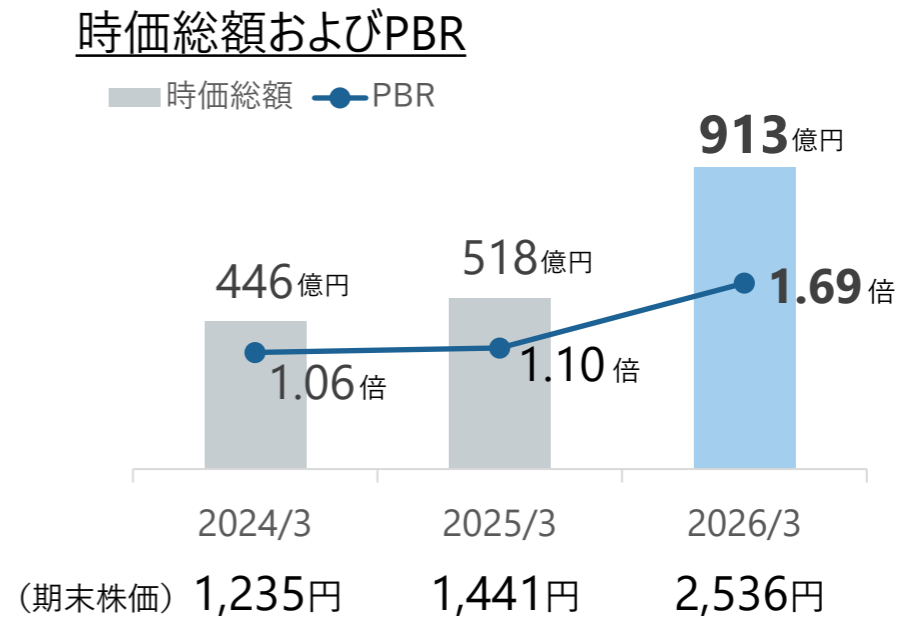
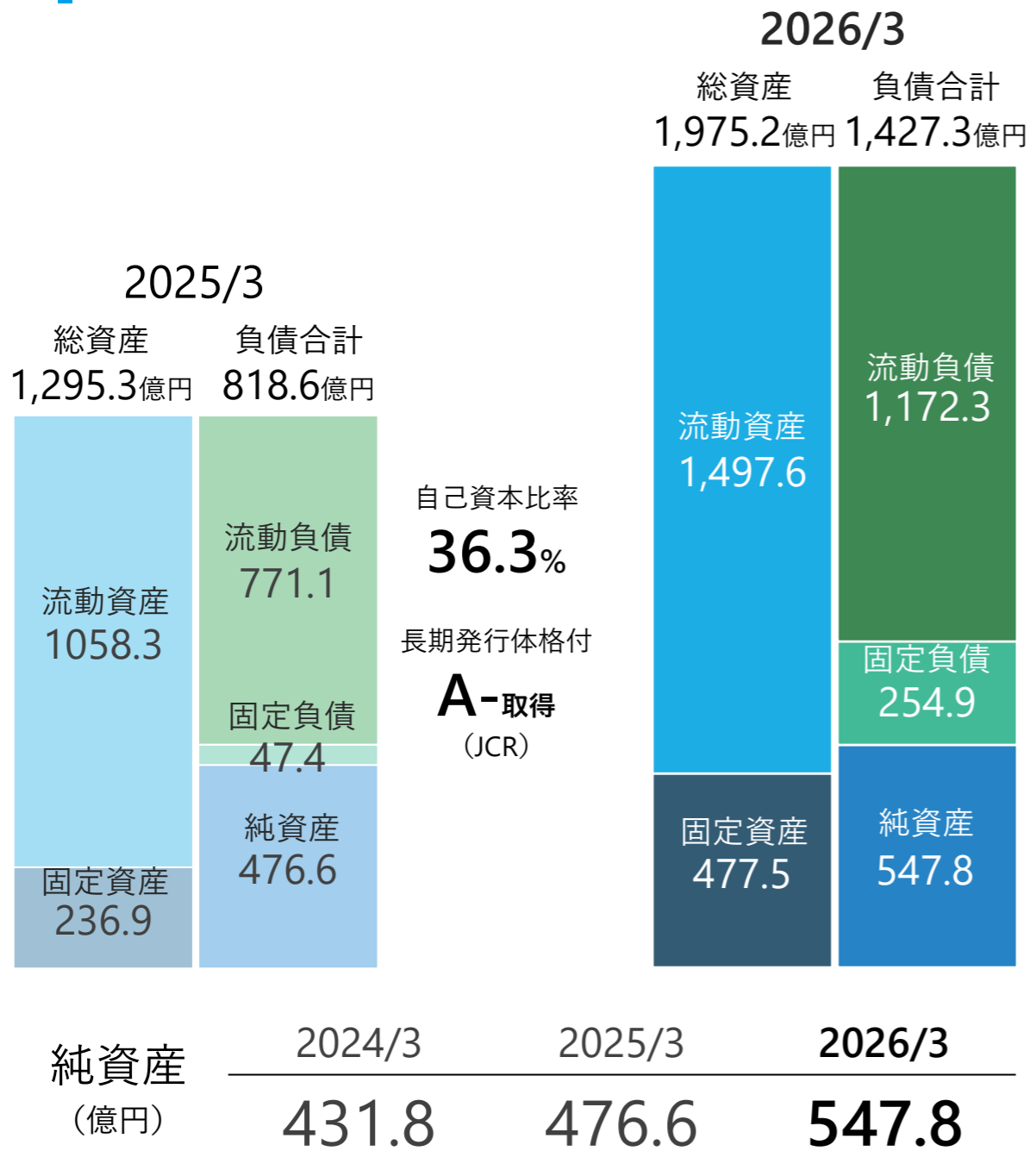
2. 2026年3月期 連結決算概要

3. 2027年3月期 連結業績予想

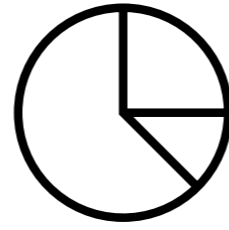
4. 株主還元

	2025/3 実績		2026/3 実績		増減
取扱高	2,904.4	億円	2,957.2	億円	+1.8 %
売上高	937.3	億円	1,084.8	億円	+15.7 %
営業利益	64.8	億円	80.3	億円	+23.8 %
経常利益	82.9	億円	90.3	億円	+8.9 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	77.9	億円	75.0	億円	▲3.7 %
受注高	1,032.3	億円	1,185.6	億円	+14.8 %
受注残高	667.6	億円	768.4	億円	+15.1 %

連結バランスシート



※2025年10月1日を効力日とした、普通株式1株につき3株の割合の株式分割実施に伴い、当該株式分割調整後の期末株価とEPSを記載しております

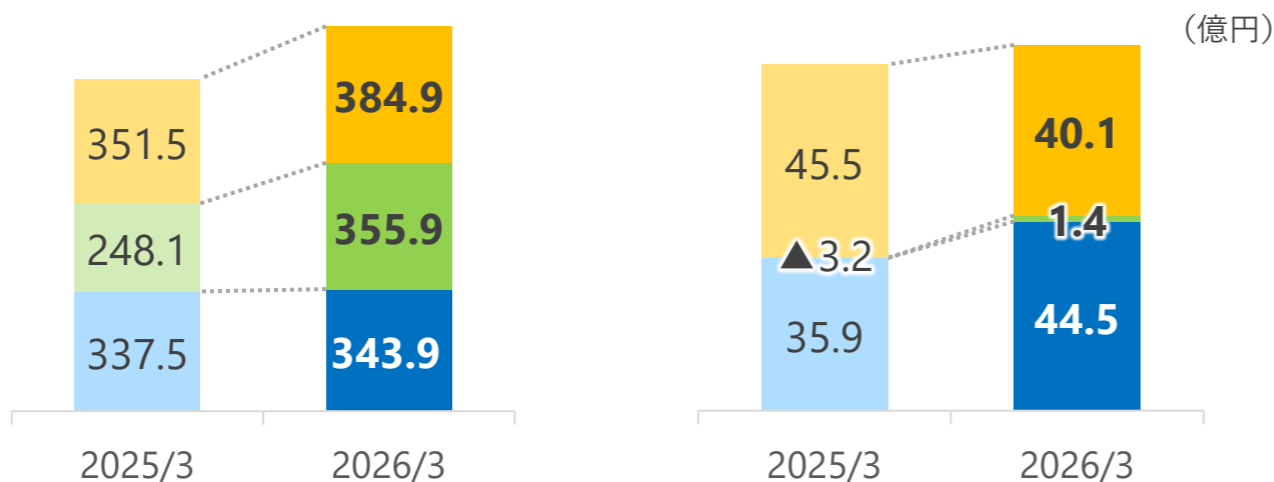


2026年3月期 セグメント別概況

セグメント別概況

(億円)

	売上高			セグメント利益(※1)		
	2025/3 実績	2026/3 実績	増減	2025/3 実績	2026/3 実績	増減
エネルギー事業	351.5	384.9	+9.5%	45.5 (※2) 35.9	40.1	▲11.9% (※2)+11.5%
産業機械事業	248.1	355.9	+43.4%	▲3.2	1.4	黒字化
プロダクト事業	337.5	343.9	+1.9%	35.9	44.5	+23.8%



エネルギー事業

西日本各地の火力発電所および原子力発電所向け定期修繕工事や、九州地区の火力発電所新設工事等の受渡しが順調に進んだことで増収。一方、前期は持分法適用会社化により発生した負ののれんの計上があったことから減益。
(負ののれんを控除した場合は前年同期比 増益)



産業機械事業

当社単体において、化学会社向け機能性フィルム製造プラントや、各種環境負荷低減関連装置の受渡しがあったこと等により、前年に比べ業績が改善。



プロダクト事業

連結子会社の日本ダイヤバルブやTsurumi (Europe) GmbHグループの業績が堅調に推移したことで増収増益。

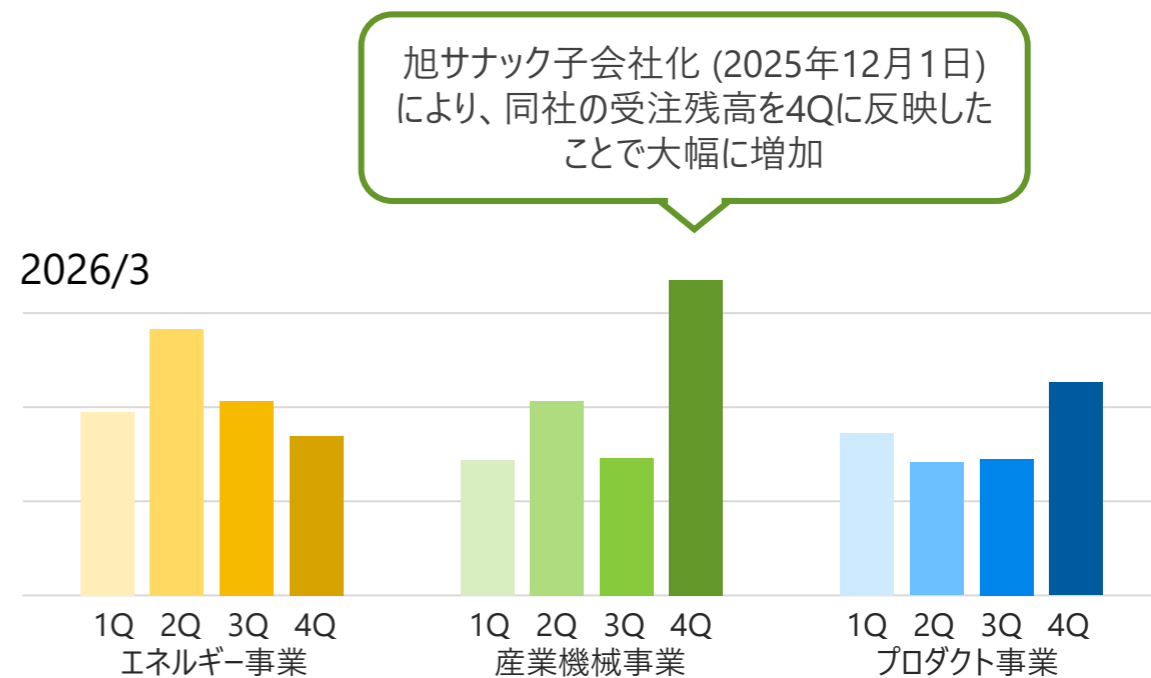
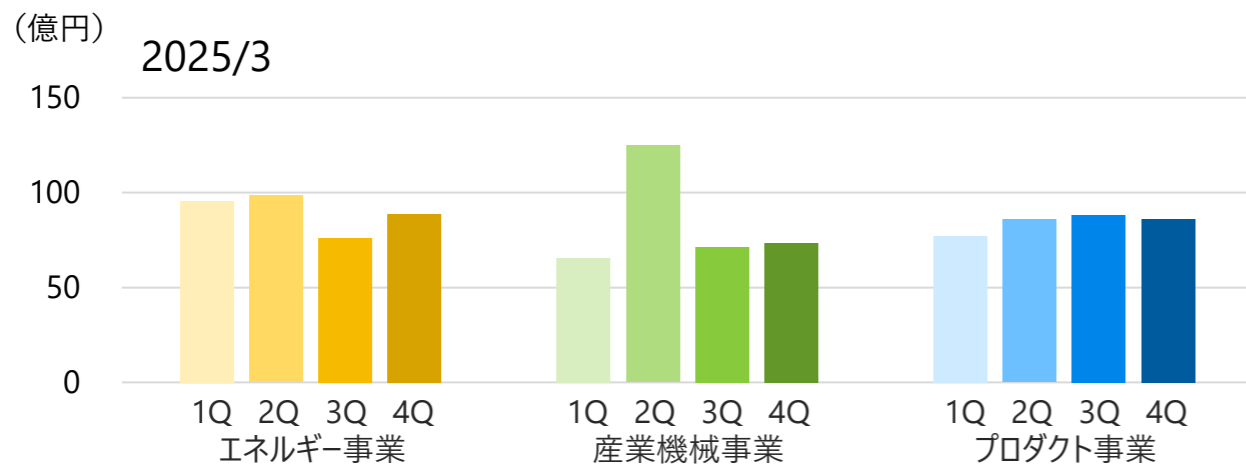
(※1)前期より、持分法適用関連会社の損益を考慮し、セグメント利益を従来の営業利益から、営業利益に持分法による投資損益を調整した金額に変更いたしました。前期実績は持分法適用関連会社であるTVE、日本フェンオールをプロダクト事業からエネルギー事業に変更した数値となっております。

(※2)前期の日本フェンオールの持分法適用関連会社化による負ののれん9.5億円を除いた場合の数値を記載しております。

セグメント別 受注高の四半期推移

(億円)

	2025/3					2026/3				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
エネルギー事業	95.7	98.5	76.2	88.7	359.2	97.6	141.6	103.2	84.7	427.2
産業機械事業	65.5	124.8	71.2	73.4	335.1	72.1	103.2	70.6	167.4	413.5
プロダクト事業	77.3	85.8	88.2	86.3	337.8	86.4	72.9	72.3	113.1	344.8
合計	238.7	309.3	235.7	248.6	1,032.3	256.2	317.8	246.2	365.2	1,185.6



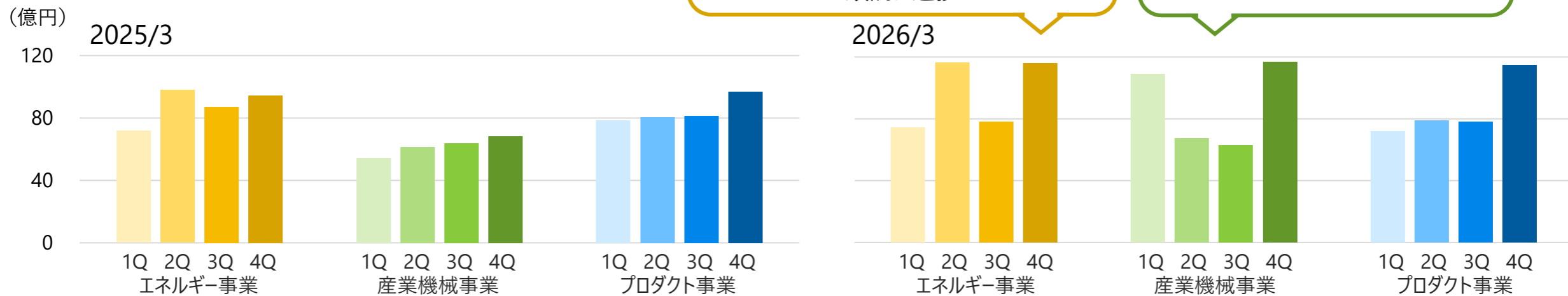
セグメント別 売上高の四半期推移

(億円)

	2025/3					2026/3				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
エネルギー事業	71.8	97.9	87.2	94.5	351.5	74.4	116.4	77.9	115.9	384.9
産業機械事業	54.4	61.5	63.7	68.4	248.1	109.1	67.3	62.6	116.7	355.9
プロダクト事業	78.5	80.7	81.2	96.9	337.5	72.0	78.8	78.2	114.7	343.9
合計	204.8	240.2	232.2	259.9	937.3	255.6	262.6	218.9	347.5	1,084.8

西日本各地の火力発電所および原子力発電所向け定期修繕工事や、九州地区の火力発電所新設工事等の受渡しが進捗

1Qは化学会社向け機能性フィルム製造プラント、4Qは各種環境負荷低減関連装置の受渡し等により伸長



セグメント別 受注残高の状況

エネルギー事業：原子力発電所における設備更新案件等を中心に受注残高が増加

産業機械事業：昨年12月に子会社化した旭サナック分が受注残高増加に寄与

プロダクト事業：横ばいで安定的に推移

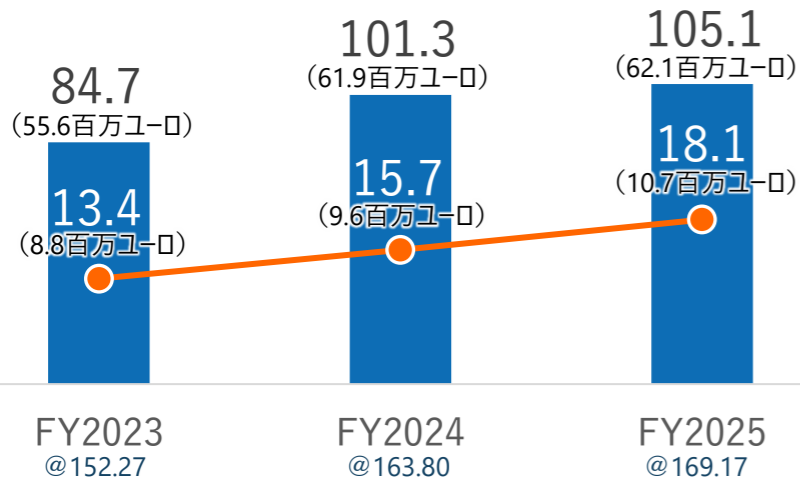
(億円)

	過去受注残高		受注高	売上高	受注残高	前期比 受注残高
	2024/3	2025/3	2026/3			
エネルギー事業	244.0	251.7	427.2	384.9	294.0	+16.8%
産業機械事業	193.0	280.0	413.5	355.9	337.6	+20.6%
プロダクト事業	135.5	135.8	344.8	343.9	136.6	+0.6%
合計	572.6	667.6	1,185.6	1,084.8	768.4	+15.1%

主要連結子会社の状況

Tsurumi (Europe) GmbH グループ

■ 売上高 ■ 営業利益 (億円)

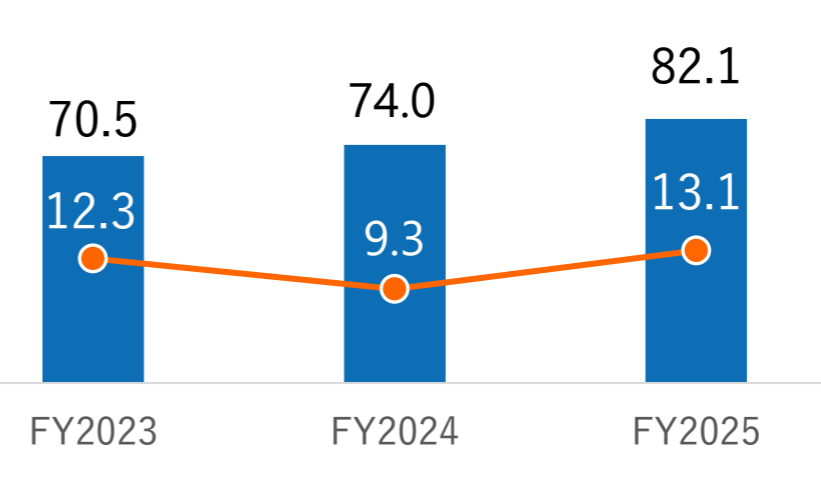


- ・FY2025はTEGグループ最高業績
- ・Tsurumi UK (英国) の出資比率を80%→100%に変更
- ・世界最大の国際建設機械・建設車両関連見本市【BAUMA2025 (ドイツ)】へ出展 (3年に1度)

NDV 日本ダイヤバルブ株式会社

※単体数値

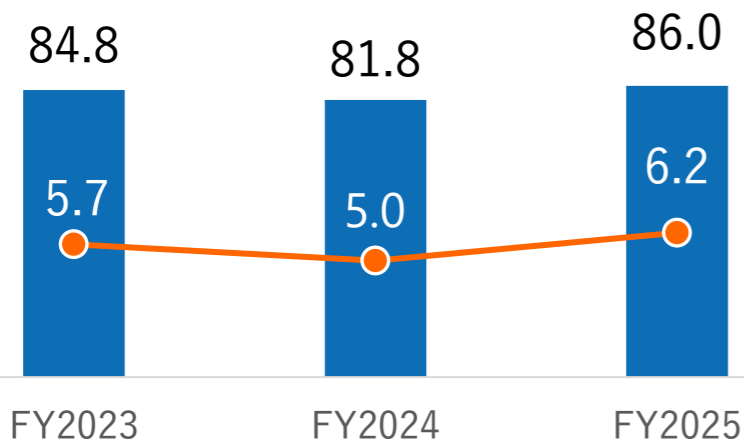
■ 売上高 ■ 営業利益 (億円)



- ・FY2025は過去最高業績、機能性化学分野向けの好調な売上が寄与
- ・本社工場に隣接する土地建物取得、本年9月より生産効率の改善に着手

SDE/セイカダイヤエンジン株式会社

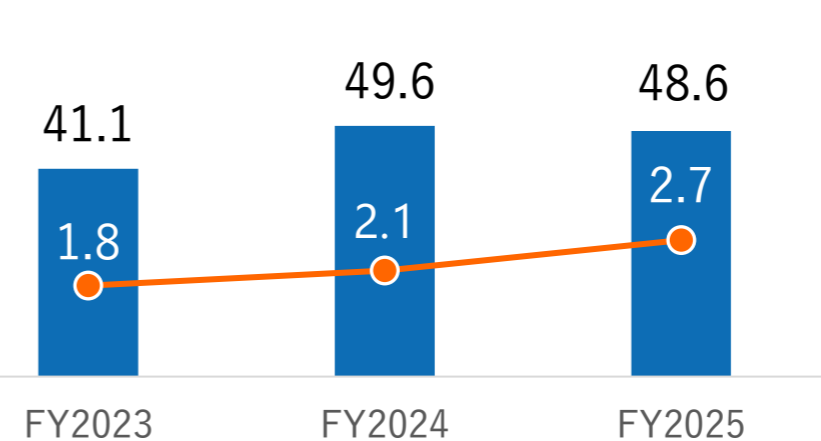
■ 売上高 ■ 営業利益 (億円)



- ・FY2025は設立来最高業績
- ・大手養殖事業者との取引増加
- ・田中造船との連携促進 (海外案件、三菱エンジンの拡販等)

敷島機器株式会社

■ 売上高 ■ 営業利益 (億円)



- ・3期連続の増益達成
- ・データセンター、道内発電所、原子力関連施設案件に対応する為の人員体制構築
- ・六ヶ所原子燃料再処理施設への人材派遣、非常用電源車事業を軸とした新たな収益源開拓



所在地	愛知県尾張旭市
事業内容	塗装機械、圧造機械、精密洗浄・コーティング装置の開発、製造、販売、アフターサービス他
資本金	2億55百万円
創業	1942年7月17日
株式譲渡実行日	2025年12月1日（取得額188億円）
のれん償却額 115億円 償却期間 16年	

子会社化した背景

- タイ・ドイツで合併会社を設立しており、予てから同社とは接点があり密接な関係にあった
- 同社が当社の持続的成長に貢献する安定した収益力と、高い技術を有する企業であること

期待するシナジー（事業収益の拡大）

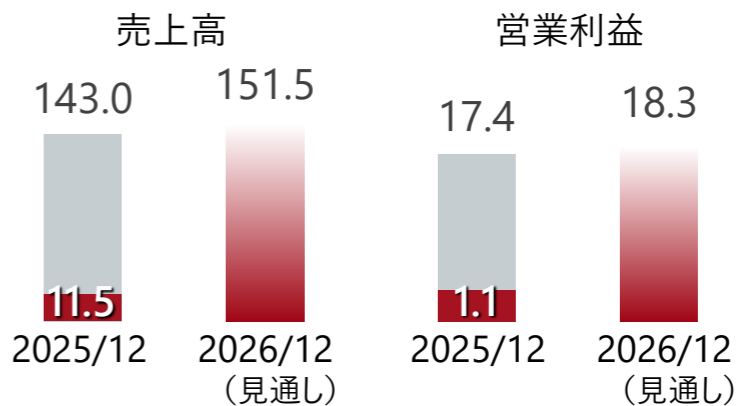
- ① 当社産業機械事業やプロダクト事業を対象に、新規顧客の獲得
- ② 当社の取引機械メーカーを対象とした塗装設備の販売推進
- ③ タイ・ドイツをはじめとした西華産業の海外ネットワークを活かし、海外における販路拡大を図る

現在の状況と今後の方針

- 子会社化に伴い同社決算月を5月から12月に変更
これにより、当社の2026年3月決算には同社の12月分（1ヶ月分）の損益が連結されている
- 当社CMS（Cash Management System）を導入し、資金効率の向上に着手
- 統合プロセス（Post Merger Integration）により経営・業務・意識の融合を推進
 - －ガバナンス体制の整備
 - －当社国内外の販売拠点を活用した営業体制の強化
 - －重複する海外拠点の再編

12月決算に振り替え後の前期実績※および今期見通し

※2025年1月～12月（億円）



■ … 連結業績への寄与

1. 決算サマリー
2. 2026年3月期 連結決算概要
- 3. 2027年3月期 連結業績予想**
4. 株主還元

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減
売上高	1,084.8 億円	1,250 億円	+15.2 %
営業利益	80.3 億円	91 億円	+13.3 %
経常利益	90.3 億円	98 億円	+8.4 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	75.0 億円	76 億円	+1.2 %
1株当たり 当期純利益	208.44 円	215.33 円	—
年間配当	(予想) 81.66 円	93 円	+11.34 円
		(中間46円／期末47円)	

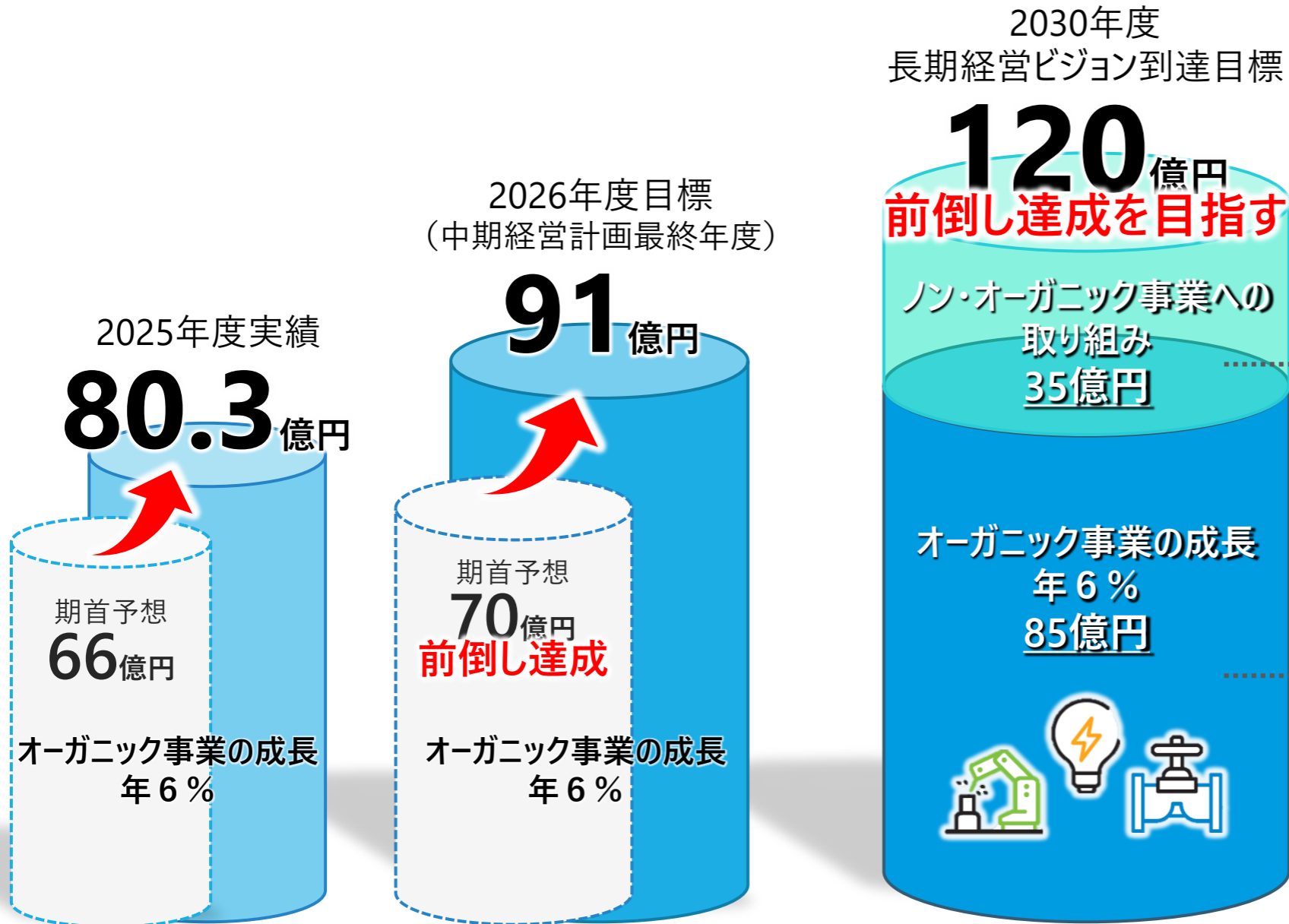
2027年3月期 セグメント別連結業績予想

- 前期（2026年3月期）より、持分法適用関連会社の損益を考慮し、セグメント利益を従来の営業利益から営業利益に持分法による投資損益を調整した金額に変更
- 前期比較は、セグメント利益算出方法変更後の基準で表記

(億円)

	売上高			セグメント利益 【セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資損益】		
	2026/3 実績	2027/3 予想	増減額	2026/3 実績	2027/3 予想	増減額
エネルギー事業	384.9	400	+15.1	40.1	40	▲0.1
産業機械事業	355.9	490	+134.1	1.4	13	+11.6
プロダクト事業	343.9	360	+16.1	44.5	43	▲1.5
合計	1,084.8	1,250	+165.3	86.1	96	+10.0

長期経営ビジョンにおける営業利益目標達成イメージ



新たな収益基盤の構築や事業の形成

- ✓ 健全なB/Sを活用し、財務レバレッジによる事業投資（日本格付研究所による長期発行体格付「A-」維持）
- ✓ 飛び地ではなく知見のある分野から模索

既存事業の収益基盤強化

- ✓ TVEや日本フェンオールのように営業シナジーがある取引先を対象に、更に補完的M&Aを進めていき**収益の幹を太くする**（持分利益 + 営業シナジー利益を狙う）
- ✓ エネルギー事業に限らず、産業機械事業・プロダクト事業に係わる分野も対象となる

中期経営計画『VIORB2030 Phase1』

長期経営ビジョン『VIORB 2030』

1. 決算サマリー

2. 2026年3月期 連結決算概要

3. 2027年3月期 連結業績予想

4. 株主還元

株主還元－自己株式の取得

取得方法	市場買付
取得対象株式の種類	当社普通株式
取得しうる株式の総数	1,050,000株（上限） 発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合2.89%
株式の取得価額の総額	30億円（上限）
取得期間	2026年5月14日～2026年8月31日

（ご参考） 2026年3月31日時点の自己株式の保有
 発行済株式総数（自己株式を除く） 36,312,473 株
 自己株式数* 649,477 株
 *当該自己株式には役員報酬BIP信託が所有する当社株式は含めておりません


取得理由



資本効率の改善



株主への利益還元



経営環境の変化に対応した
機動的な資本政策の遂行

株主還元－還元方針変更

従来

総還元性向45%目途



2027年3月期 中間配当より適用

連結配当性向45%目途

(予想)

年間配当 93円

配当性向 43.2%

変更理由

- ✓ 戦略的事業投資を通じて基礎収益力が向上した現在の状況を踏まえ、今後は事業収益を元とする配当を中心に据えた株主還元方針に変更

基本方針

【株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとし、安定的な配当を実施】

- ✓ 営業・財務両面にわたる効率的な業務運営により、経営基盤の強化を図るとともに、新しい事業の開発などの資金需要に柔軟に対応しながら、連結配当性向45%を目途に配当
- ✓ 自己株式取得については、取り巻く経営環境の変化に応じて適時適切に実施していく

配当金の推移

※2025年10月1日を効力日とした普通株式1株につき3株の割合の株式分割実施に伴い、当該株式分割調整後の配当金額を記載しています

	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026 (予想)
配当 (円)	中間	8.33	11.66	20	30	36.66
	期末	13.33	18.33	30	43.33	(予想) 45
	合計	21.66	30	50	73.33	(予想) 81.66
連結配当性向 (%)	34.8	21.6	40.3	33.9	39.2	43.2
総還元性向 (%)			40.4	37.2	39.5	自己株式30億円取得予定

配当性向35%目途

総還元性向45%目途

配当性向45%目途



人を想い、産業をつなぐ

IRサイト

URL <https://www.seika.com/ir/>



統合報告書 2025

URL <https://www.seika.com/ir/library/integrated-report/>



IRメール配信サービス

URL <https://www.seika.com/ir/mail/>



本資料に関するお問い合わせ先

西華産業株式会社 企画部

TEL：03-5221-7117 E-mail：SMB076@jp.seika.com

将来の予測に関する注意事項：

本資料にて開示されておりますデータおよび将来に関する予測につきましては、本日現在入手可能な情報に基づくものであり、予測不能、若しくは不確定な要因により大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

